

日本 IHE 協会では、2月7日（土）に、ベンダ向けの IHE 入門と地域連携に関する IHE 規格等を解説する「ベンダ向け IHE 入門と地域連携セミナー」を東京六本木のシスコシステムズセミナールームで開催いたします。コネクタソンへの参加を検討されているベンダの方や新たな IHE 動向についてご興味のある方は奮ってご参加ください。（医療機関関係者の方も参加可能ですが、医療機関向けには3月14日に東京で開催いたします。また本年度は、大阪では開催いたしませんので、宜しくお願いいたします。）申し込みは、

<https://ihe-j.sakura.ne.jp/event-info/modules/eguide/event.php?eid=29>

よりお願いいたします。

+++++

第57回 IHE 勉強会「ベンダ向け IHE 入門と地域連携セミナー」

■開催概要

日時：2015年2月7日（土）10:30-16:30（開場は9:30）

場所：シスコシステムズ合同会社 セミナールーム

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 東京ミッドタウン・タワー

地図：http://www.cisco.com/web/JP/news/ga/map_tokyo.html

定員数：70名（先着順、定員次第締切）

資料代：3,000円（会員、非会員の別はありません。本セミナーは、厚生労働省「平成26年度医療情報システムの相互運用性確保のための普及啓発事業」の受託事業の一環で行っています。）

主催：日本 IHE 協会 普及推進委員会、接続検証委員会

世話人 普及推進委員会 山本、遠藤（事務局）

- 参加する方は、必ず事前参加登録をお願いします。
 - 受付後、受理のご連絡をメールにてお送りし、請求書を郵送いたしますので指定の口座に参加費の振り込みをお願いいたします。
 - プログラム・講師・タイトルは、都合により変更になる可能性があります。
 - 医療情報技師更新ポイント付与（3ポイント）
- ★医療情報技師ポイントを申請されるかたは必ず技師認定証番号がわかるものを持参願います。
技師認定証番号が不明の場合、ポイント申請ができない場合がありますので予めご了承願います。

開始時間 10時30分

予約締切時間 2015/2/2 10:30

■概要

医療情報システムの相互運用性を確保するための方策として IHE を採用することが、特に意識すること無く行われるようになり、医療機関内のシステムにとどまらず地域医療連携の分野にも IHE が

採用される様になってきています。今後 IHE 対応製品を開発しようとしているベンダ向けに、今更聞けない IHE の初歩から、どのように IHE 対応製品を開発すれば良いのか、自社製品に IHE の何を実装すればよいのか、地域連携システムをどう構築すればよいかなどについてセミナーを開催します。

■ プログラム(予定※)

※一部変更となる場合がございます。 <10:30->

開会の挨拶 日本 IHE 協会 代表理事 安藤 裕

<10:35-11:50>

1. IHE に対応する意義 (35 分)

講師：日本 IHE 協会副代表・ITI 企画委員 木村 通男

2. IHE のプラグコンパチブルへの期待 (20 分)

講師：日本 IHE 協会 普及推進委員 塚本 信宏

3. IHE 導入経験から IHE への期待—ユーザの観点から— (20 分)

講師：日本 IHE 協会 普及推進委員会 安藤 裕

<11:50-13:00>

昼休み：昼食はご用意いたしません。各自でご対応ください。

<13:00-13:30>

4. IHE 対応製品を開発するには (30 分)

講師：日本 IHE 協会 接続検証委員 越後 洋一

<13:30-14:40>

5. 地域連携関係の IHE 統合プロファイル (70 分)

A. 臨床面・ユースケースについて (20 分) 講師：日本 IHE 協会 ITI 企画委員 向井 まさみ

B. 技術面について (30 分) 講師：日本 IHE 協会 ITI 技術委員 関 昌佳

C. 医療情報連携基盤実装ガイドについて (20 分)

講師：保健医療福祉情報システム工業会 吉村 仁

<14:40-15:00>

休憩

<15:00-16:10>

6. その他主要ドメインの IHE 統合プロファイル

(1) 放射線検査 講師：日本 IHE 協会 放射線技術委員 塩川 康成

(2) 臨床検査 講師：日本 IHE 協会 臨床検査委員 川田 剛

(3) 循環器分野 講師：日本 IHE 協会 循環器技術委員 越後 洋一

(4) 患者ケアデバイス 講師：日本 IHE 協会 PCD 技術委員 加藤 直樹

<16:10-16:30>

7. 本年度のコネクタソン予定 担当：日本 IHE 協会コネクタソン事務局

8. 質疑応答